

VII. 参考資料

1. 実施モデル事業

自立支援相談窓口の斡旋を受けた就労準備を必要とする、そして農業分野等でのキャリア形成を希望する生活困窮者を対象に、農業分野等のモデル事業として労働力支援モデル事業および広域モデル事業を設定し、2県において生活困窮者を受け入れ事業を実施した。

(1) 実施モデル概要

1) 労働力支援モデル：就労訓練事業（県域）

2) 広域モデル：就労訓練事業（全国域）

事業名	主な内容
労働力支援モデル	県域において認定就労訓練事業所が農業者より農作業を受託し、生活困窮者を送り込み、JAグループの協力を得て、雇用型の農作業体験を実施した。取組みに当たって中間支援組織（C-DA九州事務所）を設け、県・市の生活困窮者担当部署、関係する農業者団体、認定就労訓練事業所などとの調整を図り実施した。 ※全農おおいたでは地元のJAやパートナー企業等と連携し、野菜や果樹の収穫・選別を中心に幅広く農作業を請負い、「労働力支援事業」に取り組んでいる。パートナー企業が就労訓練事業所となり、本労働力支援モデル事業にかかる生活困窮者等のさまざまな人々を労働力として農家等へ送った。
広域モデル	農業分野でのプログラムを提供する宿泊施設を有する認定就労訓練事業所（NPO法人 北陸青少年自立援助センター）において、全国から生活困窮者を受け入れ農作業体験を実施した。



**現金日払い
登録制
送迎付き**

***現金日払い・・・**
日給は働いた日の帰りに
手渡します。



***登録制・・・面接→日雇い契約の登録**
→日程調整→農作業

***送迎付き・・・集合場所まで各自→**
送迎車両に乗車→農家
※現地集合も可

＜＜ 登録先事業者 ＞＞

株式会社 菜果野アグリ
大分県大分市古国府1220
(JA全農おいた敷地内)

お問合せは**C-DA九州事務所**へ



お問合せは お気軽に！

厚生労働省モデル事業
JA労働力支援事業と就労支援

C-DA 九州事務所
Career Design Approach

〒870-0035
大分県大分市中央町2丁目2-18 豊国ビル202

TEL:080-8560-8283
FAX:097-574-6109
Mail:cda.jimukyoku@gmail.com
(受付:月～土曜日・10:00～17:00)



さあ、夢の夕木をまこう！

あなたの『働きたい!』を
『農業』で応援します！

C-DA 九州事務所
Career Design Approach

厚生労働省モデル事業
JA労働力支援事業と就労支援



農業は魔法！

就職試験に何度も落ち、日付い
が魅力で体験してみた。面接で
は色々聞かれず「まずやってみま
しょう」と言われて驚いた。初めての
作業で不安だったが、見よう見ま
ねで何とかやれた。
汗をかいて、その日にお金を
いただけ、すごくうれしかった。



体験エピソード

農業は新鮮！



食卓に上る野菜の
産地を見てとても
感動した。見たことのない景色
に出会えてうれしい。
土に触れて癒されるし、お小遣い
稼げがでさる。



＊1日からでもOK！

＊ダブルワークの調整可能



＊働く日数はあなたの希望を聞きます

＊野菜や果実の収穫、箱・パック詰め、

草取り、苗の植え付けなど...

＊おもしろい作業はありません

＊あなたの体力に合わせた



作業があります



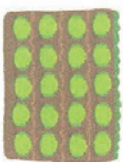
＊ほとんどの方が初めて

＊みんなと一緒に作業します



＊とにかく体験

してみましよう



『空いた日に働きたいなあ』
○子育ても終わってゆとりができた
○今の仕事はやめたくない
○短期間でいいの？
...と思っている方！



『農業ってどんなことをするの？』
○具体的な作業を知りたい
○カはないんだけど
大丈夫かなあ
...と思っている方！



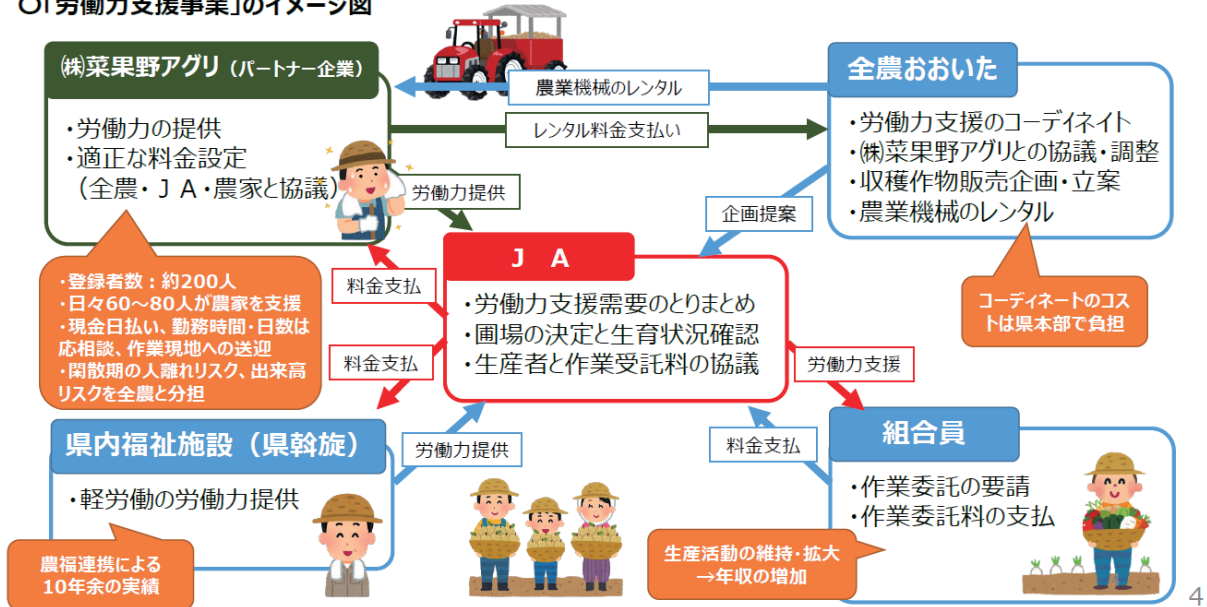
『経験がなくても大丈夫？』
○ついでにいける自信がない
○興味があるだけでいいのかなあ
○人と関わるのが苦手だけど...
○社会参加の
きっかけがほしい
...と思っている方！



(取組事例) J A 全農おいたの「労働力支援事業」

- 農家の生産活動は、家族などの基幹従事者だけでなく、近隣地域からの臨時的従業者の確保によって成立してきたが、人口減少によって労働力確保が困難になってきている。
- そこで、必要な臨時的従事者となる人材を都市部から移動させることを事業化し、組合員が必要な時に必要なだけ労働力を投入できる仕組みを構築。

○「労働力支援事業」のイメージ図



出典：まち・ひと・しごと地方創生本部「資料22 地方就労・自立支援事業について」
r02-07-21-shiryoku22.pdf (kantei.go.jp) より

2020年度厚生労働省委託事業

農業の合宿型就労体験・訓練プログラムの案内

～ 全国から受け入れ可能！ ～

生活困窮者の農福連携労働力支援モデル事業

対象者	申込み方法
自立相談支援窓口を通して就労支援を受けている方(自立相談支援事業、就労準備支援事業等) ・農業に興味、関心がある方 ・居住地を離れた土地での就労支援を希望する方	全国の自立相談支援窓口から応募 申込期限：1月末まで (オンライン等による事前面談あり)

実施場所

NPO法人 北陸青少年自立援助センター
 〒 939-2204 富山県富山市万願寺 144
 ☎ 076-467-0969
 Eメール info@haguregumo.jp
 ホームページ <https://www.haguregumo.jp/>



カリキュラム

- ① 農作業・農業体験作物の知識に関する研修
- ② 農業機械の操作方法・メンテナンスに関する研修
- ③ 寮生、地域住民との交流
- ④ 支援対象者に対する生活相談・個別相談 など

プログラム

実施コース

- ・10日間体験コース
- ・2ヵ月コース(※)

(※)10日間コースを体験後希望者

募集人数

- ・年間10名程を予定
(1回につき2名程度)

費用

- ・原則本人負担なし
(交通費、宿泊費、食費等、個室完備)





Peaceful House

はぐれ雲

NPO法人 北陸青少年自立援助センター



実施場所

NPO法人 北陸青少年自立援助センター

〒939-2204 富山県富山市万願寺144

☎ 076-467-0969

Eメール info@haguregumo.jp

ホームページ <https://www.haguregumo.jp/>



交通アクセス

電車でお越しの場合

⇒大阪より 特 急 約3時間30分
⇒大宮より 新幹線 約1時間45分
⇒名古屋より 特 急 約3時間30分 (米原回り、高山回り)

富山駅下車後、バス停留所5ポールより31・32系統
※バス乗車前に一度ご連絡ください。バス停まで迎えに行きます。

飛行機でお越しの場合

⇒富山空港より車で15分 (タクシー・レンタカーあり)
東京4便・札幌便もあり
★詳しくは各航空会社HPにてお調べください

(裏面)

参考情報

就労訓練事業所が全国から生活困窮者の希望者を受入れ、農業にかかる合宿型体験・訓練プログラム（短期間コース、長期間コース）を実施した。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 農作業・農業体験作物の知識に関する研修② 農業機械の操作方法・メンテナンスに関する研修③ 寮生、地域住民との交流④ 支援対象者に対する生活相談・個別相談 |
|---|

《実施コース》

- ・10日間体験コース
- ・2カ月コース（10日間コースを体験後希望者）

《募集人数》

- ・年間10名程度

《費用》

- ・原則本人負担なし

◆プログラム概要

① 日課

午 前

- 6:30 起床・散歩
- 朝食
- 7:00 清掃・片付け
- 8:00 勉強会等
- 9:30 作業（農繁期は早くなる）
- 11:00 昼食準備（当番）
- 12:00 昼食

午 後

- 13:30 作業
- 16:00 自由時間
- 17:00 夕食準備（当番）
- 18:00 夕食
- 片付け
- ～自由時間～

② 作業内容

- | | |
|-----------------|------------------|
| 3月 田植え準備 | 9月 稲刈り・乾燥調製・出荷 |
| 4月 苗出し（20,000枚） | 10月 同 秋野菜定植 |
| 5月 田植え補助 春野菜定植 | 11月 圃場整備・秋野菜収穫 |
| 6月 圃場周辺草刈り 野菜管理 | 12月 倉庫整備・周辺環境整備 |
| 7月 草刈り・野菜収穫販売 | 1月 雪かき・道路整備アルバイト |
| 8月 同 | 2月 同 |

- ・外出やスポーツ・体力向上トレーニング等も行う
- ・地域のイベント・大会にも参加

2. シンポジウム開催報告資料

(1) 開催案内

厚生労働省委託事業

生活困窮者自立支援制度における
農業分野等との連携強化モデル事業シンポジウム

生活困窮者の 就労に向けて

～農業での新たな人生へのチャレンジ～



オンラインセミナー

参加費無料

事前申込制

先着順

開催日 ▶ 1日目 2021年2月16日(火) 13:30～16:00
 2日目 2021年2月17日(水) 9:30～12:30

開催方法 ▶ Zoomビデオウェビナーによる配信

参加対象 ▶ 地方自治体職員、関係団体の方 等
(先着順。募集締切後に申し込みをいただいた場合は、後日メールにてHP掲載のご案内をいたします)

参加費 ▶ 無料

申込方法 ▶ インターネット <https://jiji.smartseminar.jp/public/application/add/1932>
メール sol@grp.jiji.co.jp FAX 裏面のFAX申込用紙をご利用ください。 締め切り:2021年2月15日(月)

スマートフォンは
こちらから



【プログラム】

◎1日目 2月16日(火)	◎2日目 2月17日(水)
①挨拶および行政報告	③行政報告
13:30～13:45 厚生労働省	9:30～9:45 農林水産省
②モデル事業報告	④先進事例報告
13:45～14:30 〈労働力支援モデル〉 有限責任事業組合大阪職業教育協働機構 西岡 正次 就労支援室長 特定非営利活動法人おおい子ども支援ネット 矢野 茂生 専務理事	9:45～10:15 社会福祉法人わたむきの里福祉会 酒井 了治 常務理事 「地域の生活困窮者を含む多様な人々の働きを支援」
14:30～14:40 休憩	10:15～10:45 特定非営利活動法人農スクール 小島 希世子 代表理事 「働きづらさを抱える人々が農で学び、自立へ」
14:40～15:10 〈広域モデル〉 特定非営利活動法人北陸青少年自立援助センター 川又 直 理事長	10:45～10:55 休憩
15:10～15:40 〈全国アンケート調査等報告〉 一般社団法人JA共済総合研究所 濱田 健司 主席研究員	10:55～11:25 全国農業協同組合連合会 花木 正夫 労働力支援対策室専任室長 「障害者、ミッシングワーカーなどの社会参加と「副業」としての農業～労働力支援～」
15:40～16:00 質疑応答	11:25～11:55 労働センター事業団(ワークスコープ)但馬地域福祉事業所 上村 俊雄 所長 「さまざまな人々が自ら経営し働く協同による林業」
	11:55～12:15 コメント (西岡就労支援室長、濱田主席研究員)
	12:15～12:30 質疑応答

主催：一般社団法人JA共済総合研究所

お問い合わせ ▶ セミナーへの参加について：時事通信社 担当／宮川 E-mail sol@grp.jiji.co.jp TEL 03-3524-6697 FAX 03-3545-1125
 プログラムについて：一般社団法人JA共済総合研究所 担当／茂木・高木・濱田 E-mail seikon-agri@jkri.or.jp

(表面)

参加のお申し込みは便利なインターネット(二次元コード) または メール、下記FAX申込用紙で

スマートフォンは
こちらから

インターネット

<https://jiji.smartseminar.jp/public/application/add/1932>



開催趣旨

農福連携については、2019年6月に「農福連携推進ビジョン」が取りまとめられ、生活困窮者についても「福」の広がりの支援として、国・地方公共団体が一体となって体制を整備するとともに、農作業を通じた就労・社会参加支援を実践している事例等収集、情報発信を行うこととされています。

本シンポジウムは、「農業での新たな人生へのチャレンジ」として、今年度より実施している「生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業」に関する成果を報告すると共に、全国の先進事例を紹介し、効果的なモデルの普及を目的に開催いたします。

FAXでお申し込みの際は下記に必要事項をご記入の上、こちらの番号へ申込用紙をお送りください。

セキュリティの都合などで当セミナーのホームページにアクセスできない場合は、当FAX申込用紙に必要事項をご記入の上、左記の番号へFAX送信してください。申し込み完了後、視聴用のURLが記載されたメールを差し上げます。

FAX:03-3545-1125

募集締切後に申し込みをいただいた場合は、後日メールにてHP掲載のご案内をいたします。

オンラインセミナー

「生活困窮者の就労に向けて～農業での新たな人生へのチャレンジ～」

貴団体名	TEL		
	FAX		
所在地 住 所	〒 都・道・府・県		
所属部署	役職名	貴氏名	E-Mail ※必須(正確にご記入ください)
資料送付・各種情報案内を希望しますか? (○をつけてください)		希望する / 希望しない	

お問い合わせは、下記へ

セミナーへの参加について

時事通信社 担当/宮川

E-mail sol@grp.jiji.co.jp

TEL 03-3524-6697

FAX 03-3545-1125

プログラムについて

一般社団法人JA共済総合研究所 担当/茂木・高木・濱田

E-mail seikon-agri@jkri.or.jp

(裏面)

(2) メディア掲載報告

内容	媒体名	日付	タイトル
事業開始	日本農業新聞	9/13	農体験で自立後押し【1面】
告知	時事通信社 iJAMP	1/21 1/22 1/25 2/1 2/8	生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業シンポジウム開催案内【ネットのバナー】【メール】
告知	日刊アグリ・リサーチ	2/5	生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業シンポ【10面】
告知	日本農民新聞	2/5	生活困窮者自立支援制度における農業分野等との連携強化モデル事業シンポ【WEB版】
告知	日本農業新聞	2/13	共済総研ウェブで～モデル事例を報告へ～【JA面】
開催報告	時事通信社 iJAMP	2/17	生活困窮者ら農業で自信
開催報告	日本農業新聞	2/18	共済総研シンポ～生活困窮者の自立支援で～【5面】
アンケート調査結果	日本農業新聞	2/21	自立支援に農業“有効”【1面】
開催報告	時事通信社中央官庁だより	2/22	目指すは日本農業の関係人口増＝農水省①
開催報告	福祉新聞	3/1	厚生労働省 就労支援は農業で【3面】
開催報告	日刊アグリ・リサーチ	3/4	生活困窮者自立支援と農業テーマにシンポ、全農が大分の事例紹介＝JA共済総研【6-7面】

(3) シンポジウム動画の URL

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLiP5dEsI-FQcni5M14aZCikjnMG5DUTvy>